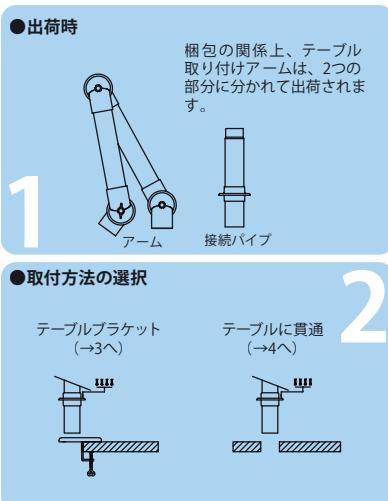
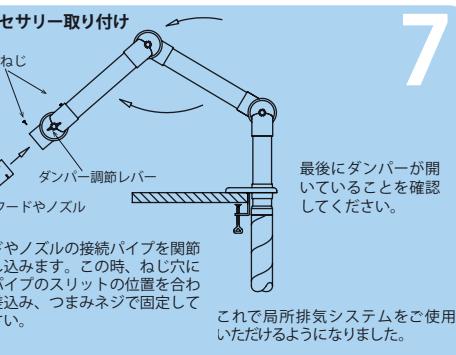
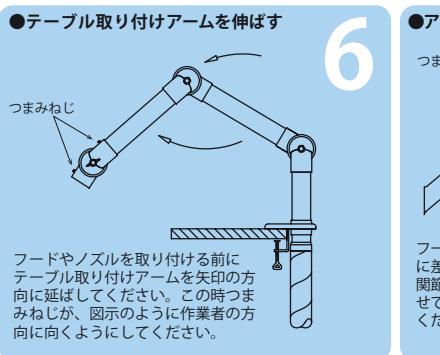
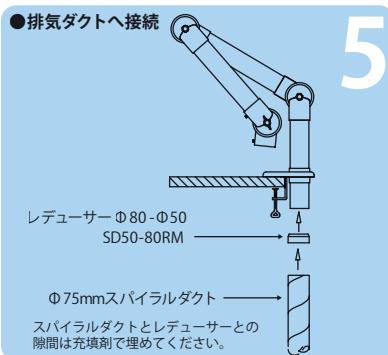
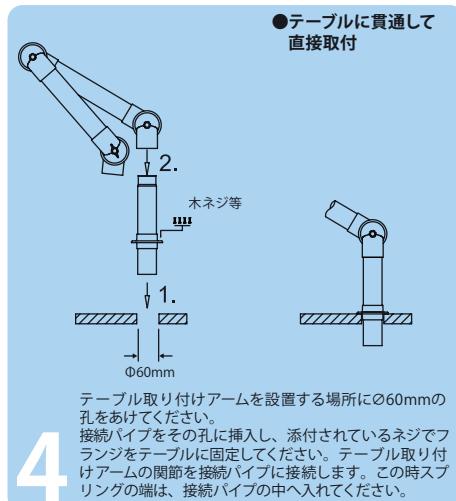
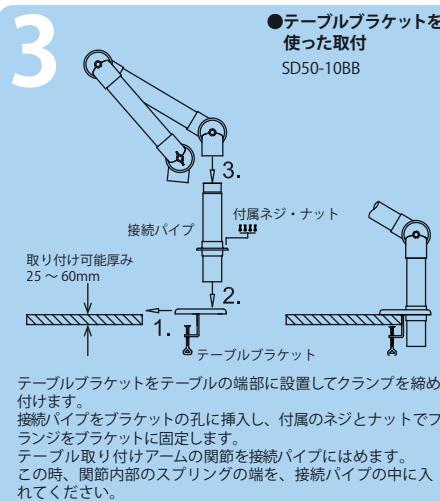
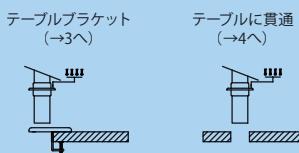




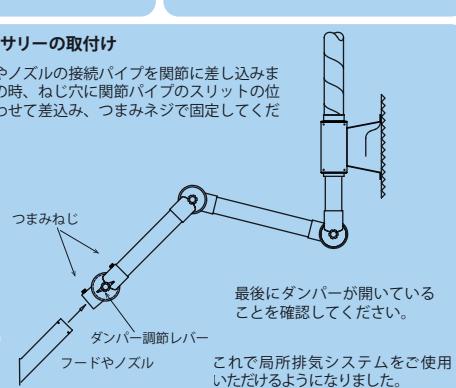
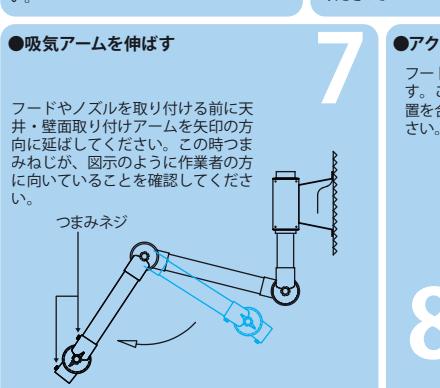
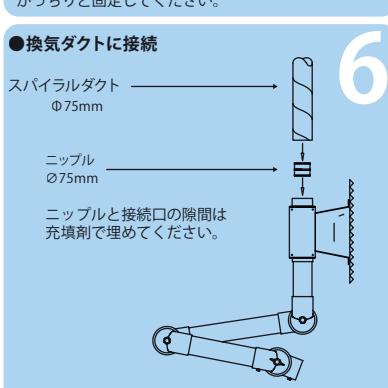
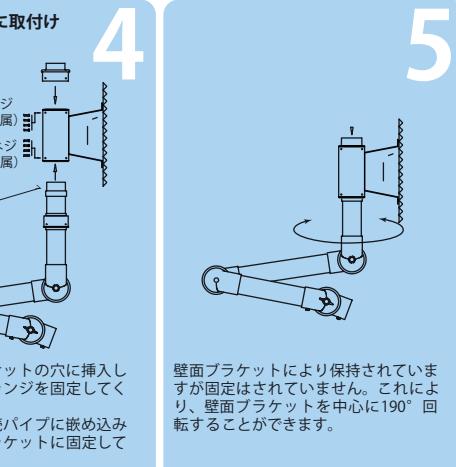
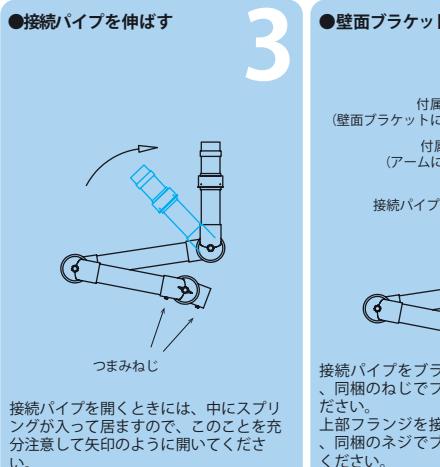
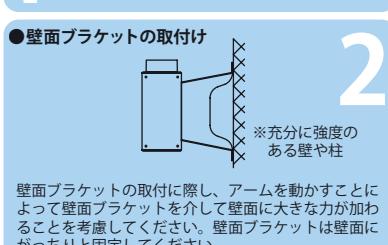
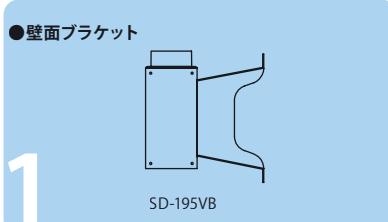
## テーブル取付け



●取付方法の選択



## 壁面取付け



注1) 1システムのダクトや部品を合わせた総重量は、数kgから10数kgになります。プラケットにはその10倍近い力がかかることがありますので、テーブルや壁にしっかりと固定してください。

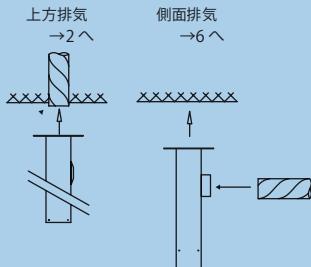
注2) フレキシブルダクト等の伸縮ダクトは使用しないでください。



## 天井取付け

### ●天井プラケット

SD-50/75の天井プラケットは、長さ250~2500mmまで9種類有ります。それぞれに、上面接続のSKSタイプと側面接続のSKタイプがあります。



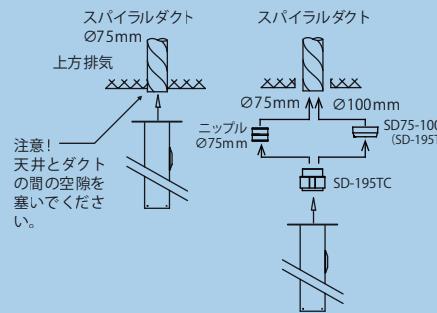
1

天井が、吊り天井など強度が低い場合、スラブに直接取り付けるか、充分な補強を行ってください。

### ●排気ダクトに接続（上面接続の場合）

上面接続の場合、左図のようにΦ75mmスパイラルダクトを上方から天井プラケットに差し込んで取り付ける方法と、右図のように天井プラケット上面接続口 SD-195TC を用いる方法があります。

左図  
Φ75mmのスパイラルダクトを直接差し込んで接続する事が出来ます。この場合、天井とダクトとの間の隙間に充填剤などでふさいでください。  
天井プラケット取付けに際しては、アーム操作によって相当な力がプラケット及び天井に掛かります。そのことを考慮し、しっかりと天井に取付けてください。



注意！  
天井とダクトの間の空隙を塞いでください。

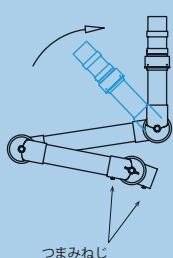
※スパイラルダクト、レデューサー、ニップル、ブレケット間の隙間がある場合は充填を行ってください。

2

右図  
天井プラケット用上面接続口 SD-195TC を使用することも出来ます。  
Φ75mmのスパイラルダクトの場合は、ニップル75mm（市販品）を介して TC-195TC に直接します。  
Φ100mmの場合は、TC-195TC に付属のレデューサー SD75-100RM を介して取り付けます。  
天井プラケット取付けに際しては、アーム操作によって相当な力がプラケット及び天井に掛かります。そのことを考慮し、しっかりと天井に取付けてください。

### ●接続パイプを伸ばす

3

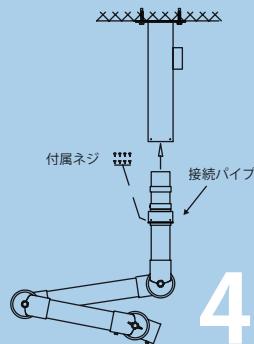


アームを伸ばす時、接続パイプは、矢印の方向に廻してください。  
この時、つまみねじの位置に注意してください。

### ●天井プラケットに取付け

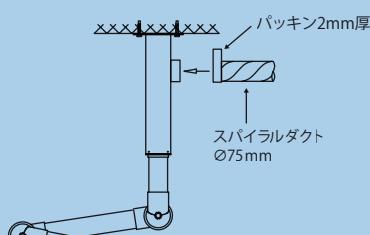
### ●天井プラケットに取付け

5



接続パイプを天井プラケットに挿入し、接続パイプのガイドが天井プラケットに合致するところまでアームを回転させてから付属のネジで固定してください。

### ●排気ダクトに接続（側面接続天井プラケット）



Φ75mmのスパイラルダクトとの隙間は、スパイラルダクト先端部分に2mm厚、幅35mm程度の充填材を貼るか、充填剤で埋めて下さい。

6

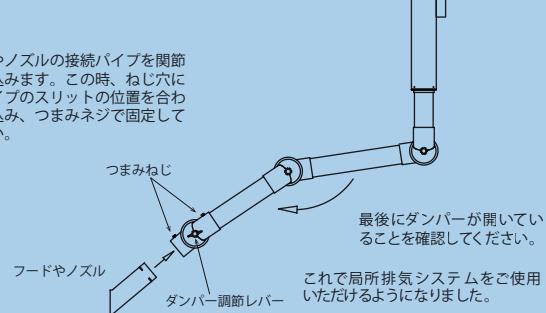
### ●天井・壁面取り付けアームを伸ばす

フードやノズルを取り付ける前に天井・壁面取り付けアームを矢印の方向に希望する位置まで伸ばしてください。  
この時、つまみねじが図示のように作業者の方向になる方向に伸ばしてください。  
逆の方向にした場合、形状を保持する為の内部のスプリングが効果を果たさないで、アームが下がってしまいます。



7

### ●フードやノズルの取付け



フードやノズルの接続パイプを関節に差し込みます。この時、ねじ穴に関節パイプのスリットの位置を合わせて差込み、つまみねじで固定してください。

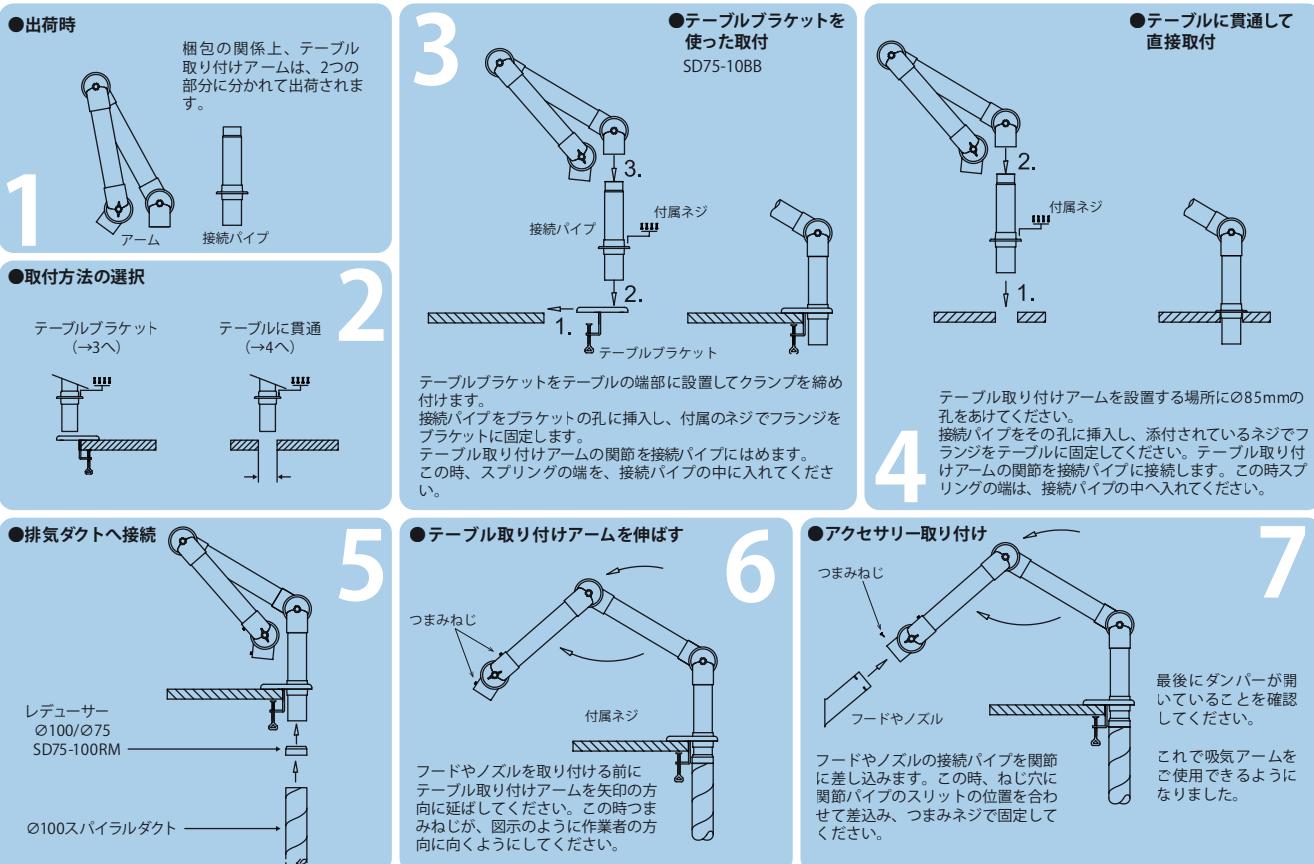
8

注1) 1システムのダクトや部品を合わせた総重量は、数kgから10数kgになります。プラケットにはその10倍近い力がかかることがありますので、テーブルや壁にしっかりと固定してください。

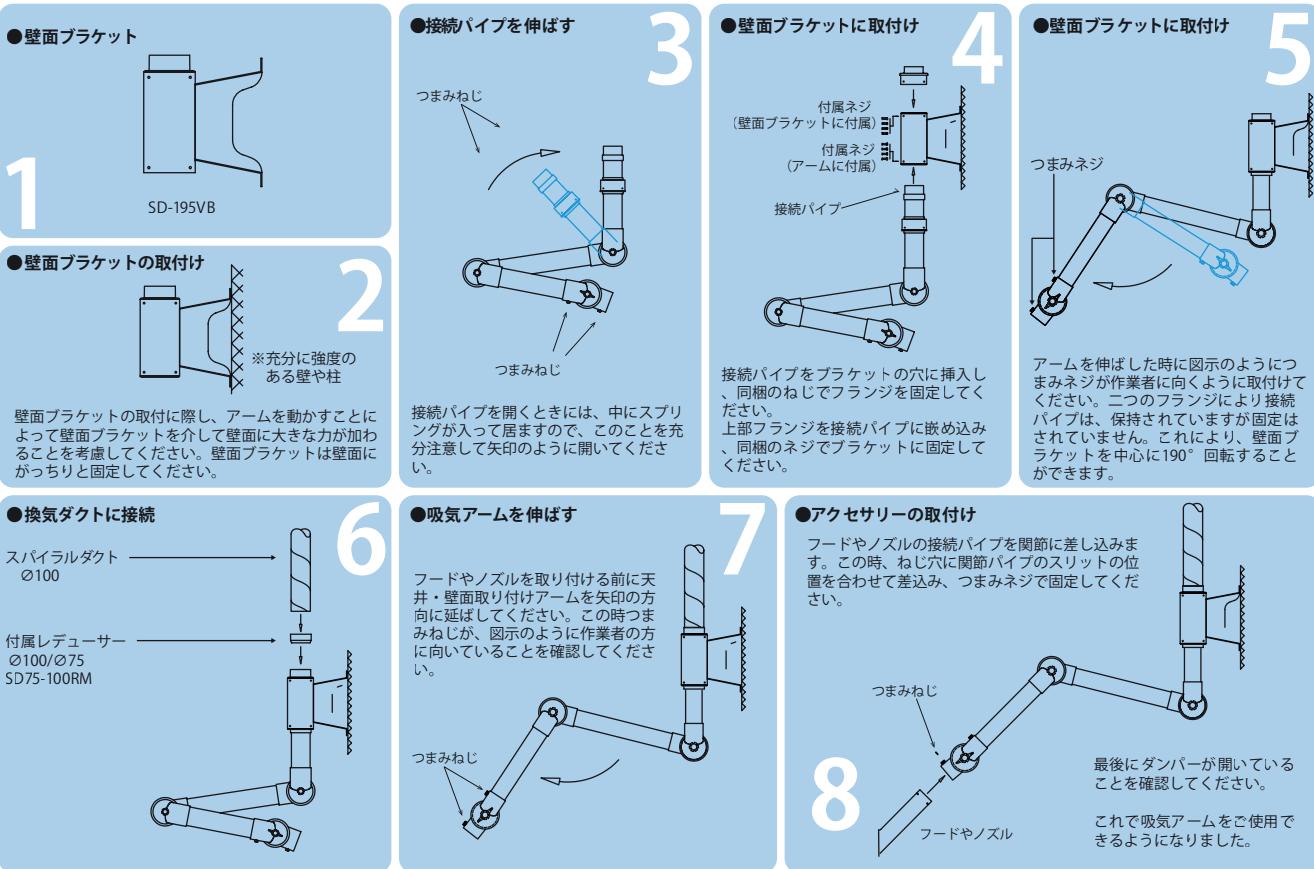
注2) フレキシブルダクト等の伸縮ダクトは使用しないでください。



## テーブル取付け



## 壁面取付け

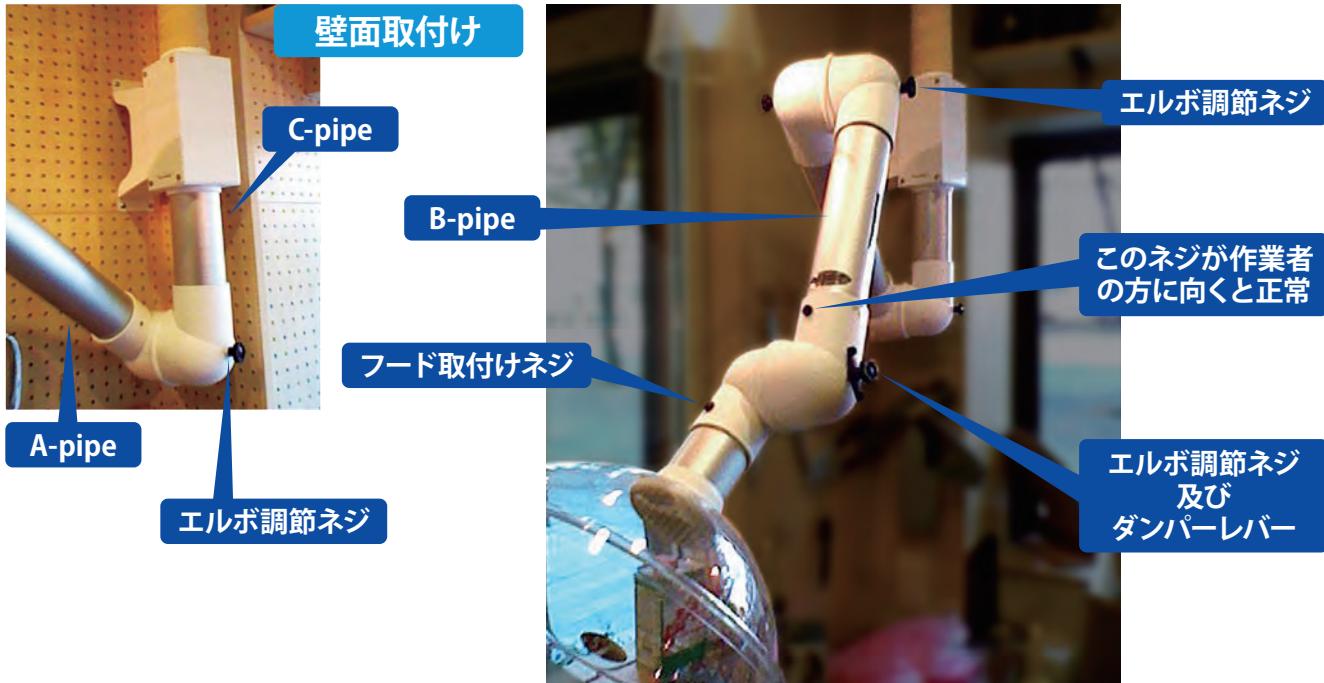


注1) 1システムのダクトや部品を合わせた総重量は、数kgから10数kgになります。ブラケットにはその10倍近い力がかかることがありますので、テーブルや壁にしっかりと固定してください。

注2) フレキシブルダクト等の伸縮ダクトは使用しないでください。



## 取付けの際のポイント



- 取付に際し、アームを下ろす方向にご注意ください。  
※ダンパーレバーが正面から見て右側になる様に設置してください。（またはA-pipeが左、C-pipeが右になるように）
- アーム位置の調節はエルボー調節ネジを締めて（ゆるめて）行ってください。
- 分解組立は、フード取付けネジ、エルボ調節ネジをゆるめて行ってください。
- 透明フードはフード内側より付属のパイプを通してください。
- 風量は必要に応じ、ダンパーレバーで調整してください。
- アーム取り付け後、ガススプリングの取付がしにくいときは、アームをブラケットからいったん取り外して行ってください。\*
- ガススプリングは、大きな力が掛かりますので取り外し時などは、十分注意してください。\*  
(\*ガススプリング付きの機種のみ)
- 出張修理は行っておりません。修理、補修につきましては弊社技術センターにお送りいただき、お見積りさせていただきます。  
弊社、または販売店にお尋ねください。
- 関節部のOリングやガススプリングは消耗品です。定期的に点検し、必要な場合は交換をしてください。
- フレキシブルダクト等の伸縮ダクトは使用しないでください。

